

2005年度第2回日本学連幹事会 議事録

2005年10月3日

広報部長 丸藤純

日時：10月1日 15時30～

場所：富士屋旅館（神奈川県小田原市）

◎出席者

☆幹事・会計監査

名前	役職	大学と学年	出席
高橋元気	日本学連幹事長	東北大学4年	○
袴田優美	日本学連会計	実践女子大学3年	○
櫻木伸也	日本学連事業部長	静岡大学4年	○
丸藤純	日本学連広報部長	岩手大学2年	○
三矢麻以	日本学連事務局長	実践女子大学3年	○
市川雄一郎	日本学連普及部長	大阪外国語大学3年	○
永井成亮	北東地区代表幹事	東北大学2年	○
高橋弘恵	関東地区代表幹事	茨城大学3年	○
本郷真弓	北信越地区代表幹事	金沢大学3年	○
福味亮伸	東海地区代表幹事	静岡大学3年	○
大西康平	関西地区代表幹事	京都大学3年	○
柴崎洋志	中九四地区代表幹事	山口大学3年	○
高瀬悠太	日本学連会計監査	東京工業大学3年	○
川上由紀子	日本学連会計監査	新潟大学3年	○

北東地区代表幹事は真名垣友樹の代理。

中九四地区代表幹事は倉田陽子の代理。

☆理事・その他役員

名前	担当	出席
土方隆	日本学生オリエンテーリング選手権大会ミドル ディスタンス・リレー競技部門	○
堺信夫	理事 普及部 組織強化	○
大西梓実	活動報告書作成委員長	○
藤本佳完	インカレロング2005実行委員会 副委員長	○
黒川幸子	インカレミドル2005実行委員会 副委員長	○

1. 自己紹介

⇒自己紹介については上記出席者を参照。

2. 会計監査承認の確認

川上由紀子さん（新潟大3年）

⇒確認しました。

3. 活動報告書作成委員長の承認

大西梓実さん（東京女子大2年）

⇒12/12で承認。

4. 北大大会後援申請承認の確認

⇒確認しました。

5. 大会後援申請の承認

山口大大会、早大OC大会、東大OLK大会

⇒各大会とも12/12で承認。

6. 日本学連規約改正 評議員制度の廃止（別紙参照）

⇒資料参照

→資料40条3号 …委員の人数を聞くことができる。…
を、「委員名簿の提出を求めることができる。」に変更。
次回総会で改正を諮る。

7. 日本学連規約改正【日本学生オリエンテーリング選手権大会実施規則】

25. 11 リレーにおいて、次競技者への引継は、計時線を越えたあとの指定された区域（チェンジオーバーエリア）で、両競技者の接触により行う。
→リレーにおいて、次競技者への引継は、指定された区域（チェンジオーバーエリア）で、両競技者の接触により行う。

※理由：チェンジオーバーは計時線通過後ということを規則で決める必要はない。

28. 2 ナンバーカードは、競技中常にはっきり見えるようにして、胸と背中に着用する。ナンバーカードの大きさは、25×25 cmを超えないものとする。数字は、最低でも10 cm以上の高さが必要である。
→ナンバーカードは、競技中常にはっきり見えるようにして、胸と背中に着用する。ただし、ミドル予選に関しては少なくとも胸に着用すればよい。ナンバーカードの大きさは、25×25 cmを超えないものとする。数字は、最低でも10 cm以上の高さが必要である。

※理由：ミドル予選のナンバーカードを前後につける必然性は特にない。

もちろん実行委員会の判断で付けても良い。

⇒次回総会で改正を諮る。

8. 2005 年度インカレロング

⇒運営

- 宿泊輸送などの準備が遅れている。学連バスについては各地区学連の意向を聞くまでダイヤが決まらない。
- 運営者マニュアルの作成、プログラム作成が始まった。
- 当日の運営者もめどが立った。
- 要綱の発表をした。
- 式典、プログラムや花束の準備、後片付けなどの非競技面で学生の手伝いが必要。

⇒学連の資材

- 資材管理の担当を決め、入り口と出口での受付をしっかりと行う。
- 学連側の担当は事務局長の三矢麻以。

9. 2005 年度インカレミドル

運営者募集に関して

⇒現段階では大丈夫。

どのようなことをすればインカレが盛り上がるか

⇒主役は学生であるため、学生の意見が欲しい。そのため各地区学連で話し合う。

学生側の運営参加について（別紙参照）

⇒講習会

→実行委員会から1人学生とのパイプ役を出す。

→インカレマップを使う場合、学生の負担減のため実行委員会でコースを組むことも可能。

→インカレマップを使うかは、今後事業部内で考える。

⇒モデルイベント

- ・受付をやる学生の負担にならないか？

→過去に行った実績があるから大丈夫だろう。

- ・開会式関係の人達が出られるか？

→こちらも開会式のやり方しだいである。

10. 2006 年度インカレロング

長野県駒ヶ根高原で開催予定

11. ICL2004 会計報告

別紙参照

12. インカレ実行委員会の在り方

実行委員会の常設化について

⇒資料参照

→インカレ実行委員会を技術委員会のような常設の委員会にすることについて。現在、インカレ実行委員会は各回ごとに組織しているが、近年は実行委員会の立ち上げにくろうしている。実行委員会を立ち上げなければ、学連はインカレを開催することはできない。実行委員会の設置が今後も遅れるようであれば、インカレの運営に大きな支障をきたしてしまい、開催すら危ぶまれる。そこで、インカレ運営の要となるスキルと人材をストックしておく常設委員会の設置を提案する。同時に、学生主体のインカレ開催のため、中心となる事業部の充実を推進していく。

13. インカレのトレイル併設

14. 第1回日本学連総会について

⇒新城文化会館で17時より行う予定。

15. テレインコントロールワーキンググループより

⇒資料参照

→過去のインカレで使われているテレインであるため、問題はないだろう。

16. 理事会報告

⇒インカレミドルの実行委員会を承認した。

⇒インカレロングのシード選手を決定した。

17. 技術委員会報告

18. 活動報告書作成委員報告

⇒9月25日に事務局にて引継ぎをした。

⇒原稿の締め切りは1月上旬を予定している。詳しいことはMLにて通達する。

19. 地区学連活動報告及び今後の活動予定

北東学連

6/5 東大会にてセクションレースを行う

8/11 WOC 併設にてセクションレースを行う

9/11 北海道大学大会開催

9/14～9/16 宮城県にて北東学連合宿と北東学連総会を行う

10/10 東北大学大会

10/22 岩手県立大学大会

10/23 岩手大学大会

12/11 筑波大学大会にてセクションレースを行う

日本学生オリエンテーリング連盟

関東学連

活動報告

- 6月18日 第3回学連総会（津田塾大学）
- 6月26日 ロングセクション（瑞牆の森）
- 7月30日 第4回学連総会（東京工業大学）
- 8月25日 関東学連球技大会（台風のため中止）
- 9月10日 第5回学連総会（東京大学）

今後の予定（年内）

- 10月2日 東工大OLT杯
- 10月16日 千葉大OLC杯
- 10月22日 第6回学連総会
- 11月20日 ミドルセクション（高麗日和田山）
- 12月4日 新人戦（両総用水）
- 12月11日 筑波大大会

北信越学連

6月5日

インカレロングセクションレース第1戦（東大大会）

7月2～3日

学連交流会

第2回学連総会（2日）

8月11日

インカレロングセクションレース第2戦（WOC）

9月23～25日

学連合同合宿

第3回学連総会（23日）

12月11日

インカレミドルセクションレース（筑波大大会）

日本学生オリエンテーリング連盟

東海学連

7月10日東海インカレをインカレロングセレクションとして使用

8月27日～28日東海学連夏合宿（愛知県）

8月27日東海学連総会

12月24日白鳥でミドルセレクション

関西学連

6月19日 関西学連インカレロングセレクション1本目

第2回関西学連総会@関ヶ原

7月10日 近畿OL連絡会@大阪市大

8月11日 関西学連インカレロングセレクション2本目（WOC）

10月2日 神戸大学大会

10月16日 関西学連第2回定例戦@箕面

10月23日 京都大学大会

中九四学連

7月9日 中九四学連インカレロングセレクション

8月19～22日 合宿(静岡県)

12月17日 山大大会

10月8日 天皇杯

20. 各部局報告

事務局

6月に加盟・競技者登録を行った。

資材の手入れを行った。

事業部

・インカレロング関連(宿泊輸送・申込受付・式典など)

・ICL当日運営者の募集(15名程度)

広報部

いぶきの第2号から第4号を発行。

随時HPの更新。

普及部

現在学生1人+OB3人で活動しているが、各地区学連に部局員が欲しい。

21. その他

⇒春インカレHPの追認。

→追認しました。

⇒備品貸し出しのルールを作る。

→何が学連の備品なのかを調べ、リストアップする。

22. 次回幹事会の日程

JC 大会前日の1月21日（土）を予定。場所は東京都八王子市